

施策番号	1102		
施策名	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大		
概要	大学の国際化に向けて、国際社会で活躍できる人材育成を進めるとともに、海外への「大学のまち京都」の魅力発信を進め、留学生や研究者の受入拡大を図る。		
担当局・部室	総合企画局・総合政策室	共管局・部室	総合企画局・国際化推進室
上位政策	11 大学		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市国際化推進プラン，大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	市内大学等の留学生数(人)	d	e	6,822	6,998	8,185	85.5%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		d	e	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材が育っている。	b	b	64 14.0%	205 44.8%	148 32.3%	32 7.0%	9 2.0%	458
2	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。	a	a	156 32.4%	197 41.0%	101 21.0%	20 4.2%	7 1.5%	481
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		a	a	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					27 年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 大学の国際化については、市民に成果が実感されることが重要であるため、市民生活実感評価を重視する。						26 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	海外留学派遣プログラム開発支援事業	8,439	0	普通	総合企画局
2	「大学のまち 京都」の魅力を体感できる短期留学受入事業	5,893	4,484	普通	総合企画局
3	留学生スタディ京都ネットワーク	19,842	26,039	良い	総合企画局
4	留学生交流促進事業	4,193	4,368	かなり悪い	総合企画局
5	「京(みやこ)グローバル大学」促進事業	0	27,942	－	総合企画局
6	来日直後の留学生を支援する「ウェルカム・パッケージ」	0	9,639	－	総合企画局
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・グローバル化の進展に伴い世界的に留学生の獲得競争が激しくなる中、平成27年5月に、大学をはじめ、経済界、公的機関等と設立した「留学生スタディ京都ネットワーク」において、留学生向け有給インターンシップや留学生向け住宅物件情報の発信に取り組むほか、総合ポータルサイトの更なる多言語化を図るなど、留学生誘致のための情報発信を強化する。

施策名	1102	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大				
指標名	市内大学等の留学生数（人）					
担当課	総合政策室		連絡先	2 2 2 - 3 1 0 3		
1 指標の説明						
京都市内に本部を置く大学・大学院・短期大学に在学する留学生数						
2 指標の意味						
「大学のまち京都」の活性化に向けた大学の国際化の推進状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：京都地域留学生交流推進協議会調べ			
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	6,822	6,998	176人増	8,185	平成32年度目標値から各年度の目標を等差的に設定	85.5%
	全国順位	中長期目標				備考 京プラン実施計画第2ステージ策定に伴い、目標値を修正
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		15,000人	32年度	46.7%	京プラン実施計画第2ステージ	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			6 基準説明			
			目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。			
7 評価結果						
26		27		28		
d		e		b		